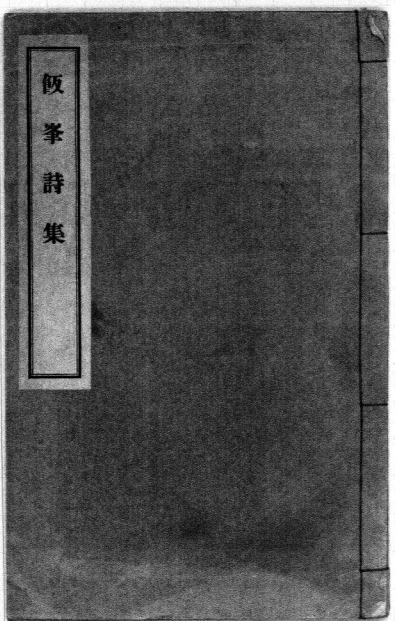


浅井(飯峰) あきみ はんさき 漢詩人。天保十一年十月出羽國置賜郡米澤生れ、明治二十五年十一月十九日歿(一八四一—一九〇二)。諱資深、字逢原、通稱省吾。米澤豐通讓館に入り、淺間厚齋の洋式砲術を學ぶ。明治四年米澤藩少屬、翌年置賜縣出仕。十二年上京、東京府書寫館新書編纂掛となる。幹事岡鹿門を知る。震澤社に入り、また廻瀾社社友として重野成齋、藤野海雨等と交友。

遺著 『飯峰文鈔』 全二冊(明治二十六年一月—二十日浅見倫太郎刊)、
『飯峰詩集』(大正二年十一月十五日京城・浅見倫太郎編)。



飯峰詩集